

# 2022年度業務計画

2022年5月

株式会社 東京金融取引所

TOPIX 365

TOPIX 株 365

T-CLEAR FX



TOKYO FINANCIAL EXCHANGE

# 1. 市場環境と見通し

---

本年度は、引き続きリテール事業における商品拡充及び参加者拡大等を図ると共に、中期経営計画の中間レビューを実施し、今後の事業展開を見据えた現行システムの期限延長を含む次期システム更改に係る基本方針を決定する。

## (1) 市場環境

---

世界的に、経済活動の漸次拡大が期待される一方で、歴史的なインフレ及び金利上昇が予想され、地政学リスクの状況によっては経済活動の停滞も見込まれる。

## (2) 証拠金取引(為替・株価指数)

---

「くりっく365」については前年実績並みを見込む一方で、「FXクリアリング」については新たな事業者の参加により取引の拡大を見込む。

「くりっく株365」については、米株や資源価格への注目の高まりを背景に取引数量の増加を見込む。

## (3) 金利先物取引

---

日銀の超金融緩和政策が継続し、金利先物取引の取引数量の改善は見込みがたい。

## 2. 方針

---

- (1) リテール事業については、マーケットメイカーを拡充するとともに、品揃えの強化等による利便性向上と投資家層拡大を図る。
- (2) ホールセール事業については、新たな柱となり得る新規事業開発を推進する。
- (3) システムの安定稼働を確保するとともに、次期システム更改に向け、現行システムの期限延長やコスト削減に関する基本方針を決定する。
- (4) 多種多様な企業との情報交換及びネットワーク作りにより、事業分野の拡張や取引相手の拡大に取り組む。

# 3. 具体策(1)

---

## (1) リテール事業

### ① CFDの拡充

---

- ・上場商品の更なる品揃え拡充の検討(天然ガスETFの価格、海外排出量市場の指数にかかるCFD等)
- ・既存商品の取引利便性向上

### ② マーケットメイカーの拡充

---

- ・商品の多様化と市場構造の変化に対応して、マーケットメイカーを拡充する

### ③ 取引所CFDの投資家への一層の浸透

---

- ・取引参加者等と連携したプロモーション活動の強化
- ・米国株価指数、金・原油ETF商品の営業推進

### ④ 多様な投資家ニーズの取り込み

---

- ・法人投資家の潜在ニーズの発掘
- ・台湾個人投資家の取引拡大

### ⑤ FXクリアリングの取引拡大

---

- ・取引参加者(FX事業者及びカバー金融機関)の増加による事業基盤の強化

# 3. 具体策(2)

---

## (2) ホールセール事業

① 排出量取引に関連する新規ビジネスの開拓

---

② クリアリング事業の拡張の検討

---

## (3) 新規事業の開発

① 信用リスク管理ツールの提供に向けた検討

---

- ・信用リスク管理ツールのマッチング機能
- ・シローンのプライマリー/セカンダリー業務等の効率化支援

## (4) システム

新商品上場や新規事業開発の行方など不確定要素を考慮し、安全性・安定性を確保しつつ、現行システムの期限を延長するための具体的方法を検討する。

## (5) 広報活動

事業分野の拡張や取引相手の拡大に係る当社の経営スタンスについて広く情報発信する。